



ひとにやさしく かんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〽)】



先日ライジングゼファアの1年生に自由帳をプレゼントしてくださったニュースにひきつづきまして

「福岡ソフトバンクホークス(株)」の皆さん下敷き(1年生のみなさん)やクリアファイル(4年生のみなさん)などの文具のプレゼントありがとうございました。



きっと子ども達は、大切に使いながら、チームが負けても勝っても応援し続けることと思います。

4年1組



4年2組



4年3組



1年1組



1年2組



飯塚市内の全1年生のお友達には選手の活躍シーンの下敷きを、飯塚市内の全4年生のお友達には、選手の活躍シーンのクリアファイルをいただきました。つらい時も選手の皆さんの素敵な姿を見て自分の心に火を入れながら努力していくことと思います。福岡には、プロ野球チーム(ソフトバンクホークス)のほかにも、プロサッカーチームが2チーム(ギラバックス北九州、アビスパ福岡)プロバスケットボールチーム(福岡ライジングゼファア)、VリーグやSVリーグに参戦の社会人バレーボールチーム(カノアウレアーズ福岡、福岡ウィニングスピリッツ)やボウリングやビリヤードやダーツ、けいりんやオートレースやゴルフやテニスや卓球やバトミントンや陸上、ラグビーフットボールやサーフィンやスキー、スケート、将棋や囲碁、スケートボード、水泳、ボクシングをはじめとする格闘技などその他のプロの(モータースポーツ含)チームや個人もあり、地元の選手の方も多数活躍されています。(飯塚東小学校出身の方も現在多数プロで活躍されています。)このことを励みに未来に希望をもたせて保護者の皆さんや、行政の皆さん、地域の皆さん、民間企業の方々、教育に携わる(保・幼・小・中・高・児童クラブ)皆さんとともに子ども達を伸ばしていきたいと願っております。(写真にはいり切れなかったお友達ごめん下さい。(〽))

P.S.応援している方や、チームが勝利することや活躍されることが一番うれしいことですが、負けて悔しいのはファンである私たちもちろんですが、最もつらいのはファンよりも選手ご本人やそのご家族、そしてチームのメンバーや関係者の皆さんが最も悔しく苦しく辛いのでありますから、そんな時こそ、心から「どんまい(Don't mind)」正確には「Don't worry about it.(ドント ウォーリー アバウトイット)」と願って次のチャンスで成功されるよう負けた時こそ応援してまいります。それが誠のファンであり、真のサポーターですね。



「本校は交換授業先進校です。6年生編」



今、日本全国の小学校では、教科を交換して、学級王国をつくらないで学級の壁を取り払って学年の先生方みんなが学年担任の先生ですよ。という文科省も各県の教育委員会も推奨している学習モデル（学校システム）があります。本校でも、私がこの学校に勤めた約20年前からこのシステムを導入していました。私（松尾史朗）の記憶が正しければ思い出される学年では、3クラスでは、国語や道徳学は自分のクラスで、社会、音楽を原弘毅先生、算数、家庭科を島田真弓先生、理科、図工と体育と書き方（毛筆）を松尾史朗、とか、社会・家庭科を栗原聡先生、算数、音楽を小林共子先生、私が、理科、図工と体育と書き方（毛筆）、また、ある時は、やはり国語と算数は担任で、古賀克則先生が社会と音楽で、藤野巳穂先生が、家庭科と理科で、私が、体育と図工と、書き方ともうひと教科で、2クラスの場合は、算数と国語は自分のクラスで、高井栄子先生が、家庭科、音楽、社会で、松尾史朗が、理科と体育と書き方（毛筆）、図工で・・・という感じで子ども達に関わらせていただいていた。教師としては専門性がいかせて大変勉強になりましたし、通知表まで評価させていただけるので、学年の児童の名前はすべて覚えていましたし、クラス関係なく学年のお子さんの担任をさせていただいていた感じでし、運動会はどここのクラスが勝っても負けても気にすることなく、ただ、けが無く全力を出し切っていいプレー（演技や走技）をしてほしいと願っておりました。素晴らしい先生方やすてきなお子さん方、保護者の皆様には今も感謝しております。ありがとうございました。長くなりましたが、本校は学年ごとの先生方の得意分野を生かして、今後も交換授業システムがなされていくことと思ひますし、日本の最先端であり続けられることと思ひますし、人類は一家みな姉妹兄弟のような学年は一家、みな姉妹兄弟のかかわりで、担任の先生方は学年で意思の疎通をはかり、共通理解されながら今年の一年を子ども達学年そろって伸ばしてくださると思ひます。

なお、写真は交換授業をされている6年生の先生方（平井文子先生・平野隆洋先生・安部航太先生）です。時間差で写せていないクラスのお友達はごめんなさい。し



かし、交換授業されていた日は同じ日の写真です。（- “-）

次回チャンスがあれば撮影しますね。

なにを私が言いたいのかはお察しのことと思ひますが、申し上げます。・・・このように、6年生のお子さんや6年生に関わる教師は、あおぞら学級の担任の先生方（大谷しのぶ先生、森政博美先生、日野誠司先生、宮本義信先生）を筆頭にかつ中心に全担任みなさんであたかも家族のように学び合い、リスペクトしあい、情熱や愛情（教育愛）を注ぎながら、心をつなげて、修学旅行に参加される方々に全校で折った折り鶴と想いを託し、参加可能なメンバーはその想いをもって6月12日（木曜日）から1泊2日の長崎県への修学旅行に出発いたします。（..）

